

元気がでる農林業の
確立を目指して



先に、国、県、市、各農林業関係機関が一堂に会して、大館の今年度の農林業問題に関する情報交換、共通理解をするために、「大館市農林業総合振興会議」を開きました。昨年の稲の大凶作やコメの部分開放、農畜産物の自由化などで農業の抜本的改革をせまられている今日、市の基幹産業の一つである農林業の危機を乗り切ろうということから市が関係機関に呼びかけて開きました。

6年度は、市の農村部において新しい農業の確立を目指した各事業が一斉にスタートします。また、これまで機会あるごとに新集落農場化を目指してということで、農業の法人化、大規模化、畜産事業の奨励などを提唱してきましたが、元気がでる大館にするには元気のある農林業を確立することが必要だと思っています。

農政元年を打ち出してから2年目を迎えました。農林業を取り巻く環境はとても厳しいものがあります。現在おかれている農林業の現状を認識し、危機の時代を乗り切っていかなければなりません。また、地域活性化は農村部においても進めていかななくてはなりませんし、市の隅々まで活性化されるように農村部の整備を進めていきます。

市の行政のみならず関係機関と連携をもって、農林業の振興に取り組んでいこうと考えています。

小畑元

おめでとう 元気100歳

菅原ハルさん(松木)が、5月1日にめでたく100歳の誕生日を迎えました。家族、親類の人たち多数でハルさんの100歳を祝ったほか、市でも祝い金などを贈り祝福しました。



市長が菅原ハルさんを訪問

市では、市の発展に寄与したお年寄りに対して、敬老の意を表すとともに長寿を祝福し、お年寄りの生きがいと福祉の増進を図る目的で、「大館市敬老祝金等支給要綱」を設置しています。

五月一日、市はこの要綱に基づき、百歳の誕生日を迎えた菅原ハルさんに顕彰状、祝い金(三十万円)、花束を贈り祝福しました。この日お祝いにかけつけた市長から「おめでとう」のメッセージをもらったハルさんの顔には思わず笑顔がこぼれていました。ハルさんは、少し耳がとおいものの、日常生活の会話に不自由はなく、まだ眼鏡なしで裁縫ができるほど元気です。また、毎日梅干しを欠かしたことがなく、カボチャと芋が大好物で、テレビで相撲を観戦するのも大好き。若いころから病院通いをしたことがなく、午前六時起床、午後八時就寝と文字通り早寝早起きを実践しています。いつまでもお元気でお過ごしください。

公共下水道

6年度工事が始まっています

今年度の下水道工事は、片山町一丁目・二丁目、城西町、住吉町、根下戸町などで行っています。工事期間中は、道路の片側交互通行や一部通行止めなどでご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。なお、今後は東台六丁目、一本杉などの工事を追加していく予定です。

水洗化工事はお早めに

下水道が整備された区域のみならず、水洗トイレで快適な暮らしを実現するため、水洗化工事を早めに行いましょう。

※下水道についてのお問い合わせは下水道課(内線340、356)へどうぞ

